

地域みんなで取り組んでいます♪

福住エコフラワーの会

地域で生ごみの堆肥化に取り組むグループを支援する市の制度を利用して結成。30世帯が加入している。



メンバーに堆肥化の方法をアドバイスしている
高野 朝恵さん



「工務店などで売っている抗酸化溶液処理バケツという特殊なバケツを利用しています。

これを使うと生ごみを入れるだけで堆肥化でき、とても便利です。土とよく混ぜて、共同の花壇や家庭菜園で使用しています。いい土からは、きれいな花やおいしい野菜ができます。堆肥化を始めてから、ごみの量がかなり減りました。食べ残しもごみにするのではなく、土に返すという意識で取り組んでいます。今年もみんなに堆肥化づくりは“おいしく楽しくきれい”ということを伝えたいです」



大きく分けて微生物の力を利用する微生物分解型と、熱を加えて減量する乾燥型があります。詳しい堆肥化の方法は、区役所などで配布しているパンフレットで紹介しています。



どんな方法があるの？

やってみよう！
生ごみの堆肥化

堆肥化セット取り扱い場所

ダンボール箱セット(200円)

「風の子さん太」
☎822-8494 区平岸 1-15

密閉式容器セット(500円)

「わーくひまわり」
☎813-5999 区美園 6-8
※7月から美園2-6に移転予定

※事前に電話連絡が必要です。生ごみ堆肥も受け入れています。

生ごみの堆肥化に関する相談や講師の派遣を行っています。また、リサイクルプラザ宮の沢(☎671-4153)では、生ごみの堆肥化に関する相談や講師の派遣を行っています。

道具をそろえるには？
ホームセンターなどで購入できます。容器やもみ殻くん炭などの必要な道具をまとめて堆肥化セットとして、販売しているところもあります。

セルビア Serbia

リサイクルボックスを利用しています

「大学やスーパーなどにある、プラスチックやビンなど種類別の回収箱を積極的に利用しています。私の国では、ビンは色分けして回収されているんです。また、お菓子などは日本より簡易包装になっています。買い物に行くときのマイバッグは欠かせません」



ピリヤナ・ノヴコヴィチさん
北海道大学大学院

世界の国々でもエコライフが活発に行われています。各国からの留学生が地域の方々と交流しながら、快適に生活する札幌留学生交流センター(豊平6-6)。ここで暮らす留学生たちの母国では、どのような取り組みが行われているのでしょうか。実例を参考に楽しくエコライフをしてみましよう。

世界に広がるエコライフ

Finland フィンランド

ビンや缶は、お店に持って行きます

「ビンなどは購入先に返すとお金が戻ってくるので、お店へ持って行くのが一般的です。各家庭で、ある程度までためて、まとめて持って行きます。自宅の庭に、コンポスターがあり、家庭から出るごみの量を減らすよう努力しています」



ヨーナ・マケラさん
北海道工業大学

Korea 韓国

カーシェアリングが広がっています

「同じ方向に出勤する人が相乗りをして職場まで行くカーシェアリングの利用が増えています。普段から心掛けていることは、ごみの分別をしっかりとすること。着なくなった服は、リサイクルショップへ持って行きます」



チェン インギョン
崔 仁景さん
札幌大学

★環境総合展 in 札幌ドームに行ってみよう!★

環境問題を考えるきっかけとなる、北海道洞爺湖サミット記念「環境総合展2008」が6月19日(木)から21日(土)の期間、札幌ドームで開かれます。最新の環境製品、環境技術などの展示をはじめ、子どもたちに人気のヒーローが、環境問題に立ち向かう環境キャラクターショーやエコカー体験、クイズ大会などさまざまなエコイベントが開催される予定です。詳しくは、全市版5ページをご覧ください。

